2025年
（令和7年）
10月16日
（第三種郵便物認可
昭和23年4月15日）
毎月3回発行
（第1，第2，第3木曜日）

今号の特集

▷中京地区有力ブランド特集 ⑧～⑪面
▷スープ特集 ⑫面

中部飲食料新聞社ホームページ
http://chuin.net/【業界情報発信中】

畑から、味の素。
「味の素®」は、うま味調味料です。さとうきびの糖蜜を発酵させてつくっています。

第3559号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5－18－9
電話（052）571－7116代表
FAX（052）571－7118
東京局
東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話（03）5614－7531
FAX（03）5614－7532

中部飲食料新聞

大正から 食を伝えて100有余年

ブルーゾーンHD
デライトHD子会社化
ローカルスーパーの発展を目指す

ヤオコーが発足した㈱ブルーゾーンホールディングスは、デライトホールディングス及びクックマートと資本・業務提携を締結した。ブルーゾーンHDはデライトHDの発行済株式の70％を取得し連結子会社とする。

デライトHDは東三河から浜松エリアを中心に12店舗を展開するローカルスーパー「クックマート」を展開するクックマート㈱の全株式を保有する持株会社。クックマートは「DELIGHT！（楽しむ、楽しませる！）」の経営理念のもと、「リアル×ローカル×ヒューマン＝地域の活気が集まる場所」をコンセプトに20年連続増収を達成するなど、独自の組織文化づくりをベースとしたリアル店舗の磨き上げを強みとしている。なお、デライト／クックマートは22年より投資ファンドのマーキュリアインベストメントと資本・業務提携を行い、業務の磨き上げや成長基盤の強化に取り組んでいる。

ブルーゾーンHDは「食品スーパーマーケット業界は少子高齢化、業界再編も含め、業態を超えた企業間競争が加速するなど取り巻く経営環境はますます厳しくなっている。当社は単なる売上規模拡大・経済合理性追求のための連結子会社化ではなく、日本の食文化や食生活、地域社会に根ざした価値を大切にする企業集団を作り、ステークホルダーの皆さまとともに、持続可能で豊かな食のあり方を創造し、【地域にお住まいのすべての方が、健康に毎日を楽しめる世界（ブルーゾーン）】の実現を目指したい。デライトHDとの間で誠実な協議を重ねた結果、お互いの良さを磨き上げ、さらなる成長を目指すとともに全国に仲間を増やし、個性あるローカルスーパーを残し発展させ、ブルーゾーンを実現する方向性が合致したことから連結子会社化を決定した」とコメントした。

日本アクセス
「中部フローズンマザー物流センター」稼働開始

日本アクセスの『中部フローズンマザー物流センター』（愛知県小牧市・横浜冷凍㈱小牧物流センター内）を新設、9月より稼働を開始した。

物流業界では「2024年問題」に代表される労働環境の変化や人手不足の深刻化を背景に、効率的かつ持続可能な物流体制の構築が求められ、特にフローズン業界は手荷役による長時間作業が一般化、長時間納品に起因した納品車両の長時間待機が大きな課題となる。

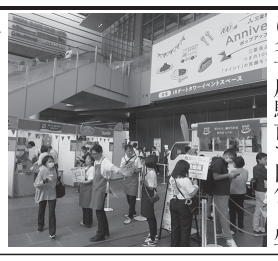
この様ななか荷役作業の省力化と輸送の効率化に有効な「パレチゼーション」（※物品をパレットに積み上げた状態のままトラックや船舶などの輸送手段に積み卸しを行う方法）は重要であり、同社は「パレチゼーション」をキーワードに業界課題を解決し、業務上での大きな効率化を目的に「フローズンマザー物流センター」の取組みを推進。物流機能を〝川上物流〟の領域まで拡大し、永続・安定的に商品調達が可能な物流機能構築に取り組んでいる。

2時間の作業が30分程度に短縮した事例も

同社の「フローズンマザー物流センター」ではエリア内の仕入れ機能を集約し、生産・販売計画を共有。車両単位・パレット単位で発注を行い一貫したパレチゼーションを促すことで、従来は平均2時間かかっていた作業が30分程度に短縮され、作業生産性は3倍以上向上する効果も確認されている。また、納品業務の効率化とこれに伴うCO^2削減も実現している。20年の関東エリアを皮切りに中四国・近畿エリアで展開し、今回の中部エリアは4番目の拠点であり、中部エリア内汎用センター9拠点へ納品する。

同社として、今後もこの取組を推進し、これらをプラットフォームとしたフローズン業界全体での一貫したパレチゼーションの実現を目指す。

三菱食品〈100周年記念施策〉
名古屋でポップアップストア実施



三菱食品は、設立100周年を記念した施策の一環としてポップアップストアを全国7都市で開催。名古屋では10月3～5日に名古屋駅前で開催し盛況となった。

ポップアップストアは同社の取り扱うオリジナルブランドを通じて同社をより知ってもらうとともに、100年の感謝とこれからの100年に向けた挑戦を伝えるもの。『三菱食品は、つぎの100年も、「オイシイ」の笑顔をつないでいきます』をテーマに会場では同社の100年の歩みを紹介するパネルをはじめ、「ハリボー」「かむかむ」「バリラ」などのオリジナル商品のお得な詰め合わせセットを販売する物販ブース、オリジナル商品を使ったメニューが試食・試飲できるキッチンカー、ビンゴやじゃんけん大会などが行われるステージなどが設けられ、成人を対象としたワインやチューハイの飲み比べや小学生以下を対象にしたワークショップなど幅広い年代が楽しめる内容とした。特に同社が販売する「ハリボー」のセットは、イメージキャラクターをデザインした特別な袋に入れて販売し好評を得た。キッチンカーでは「からだシフト」の糖質に配慮したカレーや「オールドエルパソ」のタコミートのトルティーヤなどを提供し大きな反響を得た。

同社は「通常は黒子である卸であるが、100周年を記念して感謝を伝えるイベントを名古屋のど真ん中で開催することで、多くの人に三菱食品の歴史や魅力、価値を伝えたい。先行して開催した東京会場や福岡会場では物販ブースで完売する商品が目立つなど盛況であり、名古屋会場も早い時間から多くの人が来場していて嬉しい限りである。物販をはじめ、キッチンカーでの試食、ステージイベントなどで来場者に楽しんでもらい100年の愛顧に感謝で応えたい」とコメントした。

同社は25年3月に母体である菱食の前身「北洋商会」の設立から数えて100周年を迎え、社員一丸となって未来を切り拓くための取り組みとして『これからの100年プロジェクト』を発足。「感謝」をメインテーマに「One Team」「子育て支援」「地域創生」「復興支援」の4つのサブテーマを掲げ、社内外で様々な施策を展開している

バローHD
「バローの森」が環境省自然共生サイトに認定

バローホールディングスは、岐阜県可児市の同社物流センターなどに隣接する「バローの森」が、環境省の「自然共生サイト」に認定されたことを発表した。

「バローの森」では森林本来の姿を取り戻し、100年後・その先の未来につなぐため、地域植生に基づき50種類の樹木を植栽し、樹林を再生するとともに既存山林に残存する貴重な地域特有の植物と生育環境を保全する整備活動を行い、環境省・岐阜県の絶滅危惧種に指定する動植物の生息を確認・記録。22年より環境を強化するため環境学習や体験型保全プログラムを実施。森に自生する貴重種などから種子を採取・育成した苗を地域住民と植え、豊かな生態系の保全と強化につなげ、土地本来の生物多様性を育む取組みに努めている。

同社は「今回の認定は、『バローの森』が生物多様性に富んだ環境を有していることに加え、地域生物多様性増進法における生物多様性の維持・回復・創出に貢献する活動が評価されたことによる。今後も活動を継続しネイチャーポジティブに向けた生物多様性に取り組んでいくとともに、環境・社会、地域とのつながりを大切に、持続可能な社会の実現に向けたサステナビリティ経営を推進していく」とコメントした。

自然のおいしさ!!
エジマ ジャム
小島食品製造株式会社
本社　東海市名和町一番割中25
電話〈052〉603－3511
ジミー坊や

中飲 食知る辺
もち米、酒米にも

ハロウィン企画が店頭を彩り、鍋物関連商品もようやく並び始めた。クリスマスケーキ、お節料理の予約ポスター掲示も多くなる。夏が長くなったことで、涼しさが感じられるタイミングで「え？もう今年もあと数カ月？」と、時が経つのが一層早く感じられる。

今年の新米もいよいよ市場に出回り始めた。店頭価格は依然高いままだが、総裁選で忙しかったのか某大臣の効果的な対策はこの1カ月全く聞かれず、なぜかマスコミ報道も大人しい。うるち米価格の上昇で生産者の生産意欲は高まっており、今後は市場の原理で価格は落ち着く方向に向かう、今の価格は異常との声が聞かれる。このうるち米高騰は、もち米、酒造好適米の原料価格に影響が出ており、農水省、マスコミはうるち米のみならず、この分野にも目を向けるべきだろう。

すべての人を笑顔にしたい ShinSei

食卓に、健康の種を植える

人も地球も、健康に生き続けられる食のあり方を追求し、
すべての人が笑顔で暮らせる社会をつくる。

環境への取り組み
食品ロス削減
資材ロス削減
環境に配慮した食品生産

社会への取り組み
国内外の子ども支援
健康価値の追求
産地との共生
食の安全と安心

経済への取り組み
ごまの新たな価値の創造
働き方と多様性

真誠　公式WEBサイト「サステナビリティ」

すべての人が笑顔で暮らせる持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株式会社　真誠（しんせい）　〒481-8526　愛知県北名古屋市片場新町29　TEL(0568)23-3311　FAX(0568)22-4245　北海道・東北営業部／関東営業部／中部営業部／近畿営業部／中四国営業部／九州営業部／関ヶ原工場／名古屋工場／胡麻の郷